令和8年度から始まります！

岩手大学
DX of Education
DX.E
教育実践学 × 情報学分野
高度専門人材養成プログラム

教育実践学と情報学分野を融合させた
高度専門人材養成プログラム

高度な専門性と
豊かな人間性・社会性を備えた
力量ある教員を育む大学院

令和7年度

岩手大学
教職大学院

大学院教育学研究科
教職実践専攻（専門職学位課程）

Graduate School of Education, Iwate University

GUIDE BOOK
2025

国立大学法人
岩手大学
IWATE UNIVERSITY

メッセージ

スクールリーダーと即戦力の新人教員を養成します

岩手大学大学院教育学研究科長　柴垣　登

岩手大学大学院教育学研究科（教職大学院）は平成28年4月に発足し、令和7年3月には、8期生15名が修了しました。この間の修了生は130名となり、本学における理論と実践の融合を通して修得した力量を発揮し、各学校及び教育行政の最前線で活躍しています。

本学教職大学院の現職院生は、岩手県教育委員会から派遣され、2年間の大学院での学びを経て、修了後は学校の管理職やミドルリーダー、あるいは教育委員会の指導主事等として本県の教育をけん引しています。また、学卒院生は修了後、新しい学校づくりの有力な担い手となる、より高度な実践力を備えた新人教員として活躍することが期待されており、修了生の多くが岩手県内の小中学校や高等学校、特別支援学校等の第一線で活躍しています。

本学教職大学院は、専攻共通科目を中心とする学修カリキュラムのほか、「専門実習」、「教育実践リフレクション」、「教職実践研究」をカリキュラムに位置づけ、教育現場の課題解決に資する実践的なフィールドでの研究を行っているのが大きな特色です。

2026年度からは文部科学省「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」（2024年度より受託）によるカリキュラムがスタートします。教育実践におけるDX等現代的諸課題と個々の児童生徒の教育的ニーズに応え得る、教育実践学と情報学を融合させた高度な専門的知識と実践指導力を修得するという学修目標の達成に向けて、企業や学校現場と連携しながら、豊富なPBL形式の実習や演習と細やかな履修指導を行っていきます。

本学教職大学院は、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会および盛岡市内を中心とする各学校、関係機関、企業等との連携・協力の下に、これからの学校教育の充実・発展に大きく貢献できる高い力量を備えた教員の育成に努めていきます。

専門的・実践的力量を備えた教員養成を

岩手県教育委員会教育長　佐藤一男

今年度、岩手県教育委員会から岩手大学教職大学院への派遣研修は10年目を迎えます。令和6年度の修了生（第8期生）15名を含め、これまでに130名の皆さんがそれぞれの勤務地において、学修の成果を大いに発揮しています。

第8期生の現職教員の皆さんは、副校長や主幹教諭、指導主事等として、この4月から新たなスタートを切って活躍しています。学卒院生の皆さんも、各地区の中核となる小中学校や県立学校等において、2年間の専門的な学びを生かし、意欲的に実践しています。

岩手県教育委員会が策定した「岩手県教育振興計画（2024～2028）」では、「学びの基盤づくり」を施策の一つとして位置づけています。具体的には、教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成及び資質向上を掲げており、教員の専門性の向上を図るためには、教職大学院との連携は欠かすことのできない重要な視点です。そして、教職大学院における理論と実践の融合を図った研究は、岩手の教育の充実に結びついていくものと確信しています。

高度な専門的・実践的力量を備えた教員の養成及び中核的・指導的な役割を果たすことができる管理職やミドルリーダー教員の資質能力の向上を図るため、引き続き、多様な人材の派遣に努めるとともに、実務家教員の人事交流や、専門実習等学修環境のサポートなど、教職大学院との一層の連携・協働を図って参ります。

盛岡市立高生との懇談

宮古教育事務所管内での実習

特色あるカリキュラムづくりの授業

教職大学院とは？

本学では「教育学研究科教職実践専攻」が教職大学院です。

教職大学院は、近年、学校教育の課題が多様化、複雑化する状況の中で、高い専門性と実践力を身に付けた高度専門職業人としての教員養成に特化した専門職大学院です。これまでの教育系大学院（修士課程）との違いは、専門実習、模擬授業、事例研究など実践的な教育内容が充実し、理論と実践を融合したカリキュラムとなっているところです。また、本学では独自に、高度な教育実践力と情報学を掛け合わせた資質・能力を備えた学校教員の育成を図ります。

●教育学研究科（教職実践専攻）の入学定員

入学定員　16名（うち、岩手県教育委員会から派遣される現職教員は8名）

●学位名称、標準修了年限等

標準修了年限は2年で、修了者には教職修士（専門職）の学位が授与されます。また、教育職員一種免許状の保持者には専修免許状が授与されます。

人材養成像

学校教育に関する「理論と実践の融合」の理想を掲げて、教職としての高度な専門的・実践的力量を備えた高度専門職業人としての教員を養成します。

具体的には、学校教育をリードする専門的力量を備えた管理職及びミドルリーダー教員を養成するとともに、新しい学校づくりの有力な担い手となる新人教員を養成します。

入学者受け入れ方針、学位授与方針、教育課程編成・実施の方針（令和７年度時点）は、こちらから

令和８年度から始まる新カリキュラム、教育実践学×情報学分野 高度専門人材養成プログラムは、こちらから

院生インタビュー

※プログラム名は令和7年度までのものです。

学校マネジメント力開発プログラム

現職院生 土川純子

子どもたちが目の前にいる教育現場を離れ、私は今、教職大学院で教育理論をじっくり学んでいます。今までの実践と理論の結びつきを再認識するとともに、学校の在り方を見つめ直し、充実した教育環境の構築を模索する日々です。大学院の仲間や先生方との対話を通じて、教育の目的や方法について具体的に議論し、新たな視点を学ばせていただいています。この学びを現場へ還元し、子どもたちの成長と学びを支えるために、教育の質の向上に努めていきます。

学校マネジメント開発プログラム

現職院生 西舘智香子

教職大学院での生活は、これまでの経験や生徒との関わりについて問い直す日々です。変化の激しい時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力、そのための教育制度や施策、教育理論について考えていくなかで大局的な視点の大切さを実感します。また共に学ぶ学卒院生の問いは鋭く、具体と抽象、主観と客観、理論と実践の往還への意識が高まりました。大学院で得た知識や経験を、学校現場での実践に生かせるよう努めていきたいと思います。

授業力開発プログラム

現職院生 伊東しのぶ

今求められている子どもを主語にした授業・指導とはどのようなものなのか、教職大学院で学んだ理論をもとに、今までの経験や連携協力校での実践を省察しながら学修しています。専門的な視点から指導してくださる先生と学卒院生・現職院生の仲間と議論することで、自身の授業観・子ども観・教育観が変わってきていることを感じます。このような機会を頂いたことに感謝し、子どもたちと学校のwell-beingの実現に向けて、学んだことを現場に還元できるよう、さらに研鑽に励んでいきます。

授業力開発プログラム

現職院生 川名弘晃

子ども達がこれからの時代を生き抜くためにどのような力を身に付けるべきなのか、そのために授業で教師に求められることは何か、深く考える機会となっています。国内外の様々な施策、大学院で学ぶ理論のもと、校種問わず他者との協働を通して自分自身のこれまでの授業の省察を多面的に行うことで、子どもの学びを中心に据えた授業とはどうあればよいかについて考えが大きく変わってきています。今後も子ども達の未来を見据えた学びの在り方について考え続けていきます。

授業力開発プログラム

学卒院生 太田瑠美子

教職大学院では、学部での学びをさらに深めることに加え、週に一度の専門実習により、理論と実践の往還を実感することができています。理論を受けて自分の授業や子ども支援の実践を行い、その実践を、理論をもって振り返ることで改善を繰り返すことができていると感じます。最終年度となる本年度は成功ばかりではなかった昨年の反省を生かし、実際に現場で働くことを見据えながら学びを深めていきたいです。

授業力開発プログラム

学卒院生 石川百杜巴

現職の先生方から、学校の様々なことを教えていただけることに魅力を感じています。実習校や授業で疑問に思ったことを現職の先生方にお聞きしていますが、優しく教えてくださいます。また、1年次から研究のテーマを決め、少しずつ研究も進めることができたので、ゼミの先生にも感謝しています。時には切磋琢磨し合ったり、悩みを相談し合ったりできる学卒院生と行う授業研究会はとても勉強になります。これからもお互いを高め合って、現場に出た時に役立つような1年にしていきたいと思います。

特別支援教育力開発プログラム

現職院生 及川　洋

教職大学院で学ぶ機会をいただき、これまでの自分の実践を振り返ると、私は「特別支援学校」という枠の中だけで教育を考えていたことに気付きました。教職大学院での異校種・異世代の仲間たちとの学び合いは、学校種の枠を超え、教育全体を捉える視点をもたらしてくれます。様々な視点から特別支援教育を捉え直し、日々の学修を重ねています。教職大学院での学びは、まさにエンパワーメントです。これからの教育現場の実践に生かせるよう、今後も研究と修養に努めていきます。

特別支援教育力開発プログラム

学卒院生 五島佑希菜

教職大学院では理論と実践の結びつきを通して知識だけでなく、多様な経験知を身につけることができます。この1年で学部時代の学びを更に深め、行動し、それを改善してまた考えるという質の高い学びを積み重ねることができました。専門性の高い先生方、共に学ぶ現職院生・学卒院生の方々から多くの視点をいただき、視野を広げ、養うことができる場所です。最終年度となる今年はこれまでの学びをさらに深め、学び続ける姿勢を忘れずに取り組みたいと思います。

カリキュラムについて

3つのプログラム制

学習ニーズに応じて、以下のプログラムを選択します。

令和8年度から「高度な教育実践学×情報学を基盤とする人材の育成」をめざし、これまでの各プログラムには、DX of Educationプログラムが付されアップデートされます。このために、授業科目として、MDA教育科目群を加えました。MDAとは、Mathematics, Data science and AI Smart Higher educationの略で、デジタル時代に必須となるスキルである数理・データサイエンス・AIの教育のことです。

1	学校マネジメント力開発・DX.Eプログラム（現職院生のみ対象）	学校経営と組織マネジメントに関する高度な専門的力量の修得により、特色ある学校づくりをリードする人材（校長、副校長、主幹教諭及び指導主事等）を育成する。
2	授業力開発・DX.Eプログラム	子どもの生活上・発達上の諸課題の把握とその適切な支援の見通しのもとに、子どもに確かな学力を形成し、地域における授業改善のリーダーとしての役割を果たすことができる高度な専門的力量を備えた人材を育成する。
3	特別支援教育力開発・DX.Eプログラム	特別支援学校及び通常学校における特別支援教育を推進できる高度な専門的力量を備えた人材を育成する。

専攻共通科目(必修)

①特色あるカリキュラムづくりの理論と実際
②学習指導要領とカリキュラム開発
❸ICTを活用した授業づくりの理論と実践
④学校経営・学級経営の実践と課題
⑤心理教育的援助サービスの理論と実践
⑥通常学級における特別支援教育の実践と課題
⑦いわての復興教育の実践と課題
⑧専門職としての教員の在り方とその力量形成
❾教育データ利活用による教科指導と評価
❿データサイエンス実践演習*
⓫学校におけるAI活用とDX実践演習*

選択科目

①教育のデータリテラシー
②学校カウンセリングの理論と実践
③学習支援のための教育心理学
❹教育行政におけるデータベース活用*
❺教科等指導におけるデジタルアーカイブス活用*
⑥総合学習の実践と課題
⑦子ども支援のための学校臨床心理学
⑧生活科・総合学習の実践と課題
⑨特別支援心理教育アセスメント
⑩特別支援教育におけるキャリア教育
など全35科目

・白抜き数字は、MDA教育科目です。　・*印は、1単位の科目です。

実習科目（必修）

学卒院生は、学部段階の基礎的・基本的な教育実習を踏まえ、現職院生は、教職経験を踏まえ、教科等の学習指導、生徒指導や学級・学校経営に関する高度で実践的な指導力の育成を目的とし、連携協力校、教育委員会、総合教育センター等で実習を行います。

リフレクション科目（必修）

理論的な学びと、実践的な学びを往還させながら、院生が自らの学びや成長に価値を見出す省察を行い、教育課題の解決に資する実践的力量を高めます。

教育実践研究科目（必修）

院生個人が、学校現場に貢献する教育実践のテーマを定め、その実践を理論的に検討し、教育実践研究報告書としてまとめます。なお、この成果は、半期ごとの教育実践研究中間発表会並びに修了前の発表会等で発表します。

履修スケジュール

1 年 次

学卒院生の場合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専攻共通科目						専攻共通科目					
プログラム別選択科目						プログラム別選択科目					
実習科目（授業力・子ども支援力/特別支援教育力）						実習科目（授業力・子ども支援力/特別支援教育力）					
リフレクション科目						リフレクション科目				教育実践研究中間発表会	
教育実践研究科目						教育実践研究科目					

現職院生の場合

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専攻共通科目						専攻共通科目					
プログラム別選択科目						プログラム別選択科目					
実習科目（学校マネジメント力・授業力・子ども支援力/特別支援教育力）						実習科目（学校マネジメント力・授業力・子ども支援力/特別支援教育力）					
リフレクション科目						リフレクション科目				教育実践研究中間発表会	
教育実践研究科目						教育実践研究科目					

時間割例（授業力開発・DX. Eプログラム選択・学卒院生の場合）

専攻共通科目　選択科目　実習科目　リフレクション科目　教育実践研究科目

[1 年 次 前 期]　学修導入期・研究課題設定期

曜日	1	2	3	4
月	学習支援のための教育心理学	○ 学校におけるAI活用とDX実践演習		特色あるカリキュラムづくりの理論と実践
火	専門職としての教員の在り方とその力量形成	算数・数学科教育の実践と課題		○ データサイエンスを活用した教育実践研究基礎論
水	いわての復興教育の実践と課題		○ データサイエンス実践演習	心理教育的援助サービスの理論と実践
木	専門実習（授業力・子ども支援力開発実習）			
金	教育実践リフレクションⅠ		教育実践研究	

○は、MDA教育科目群

[1 年 次 後 期]　学修展開期・研究課題探究期

曜日	1	2	3	4
月	通常学級における特別支援教育の実践と課題	○ ICTを活用した授業づくりの理論と実践		○ 教育データ利活用による教科指導と評価
火	学習指導要領とカリキュラム開発			
水	学校経営・学級経営の実態と課題			
木	専門実習（授業力・子ども支援力開発実習）			
金	教育実践リフレクションⅡ		教育実践研究	

○は、MDA教育科目群

[2 年 次 前 期]　学修深化期・研究課題深化期

曜日	1	2	3	4
月	小学校教科の実践と課題			
火				
水			○ 情報通信技術を活用した小規模学校教育	
木	専門実習（授業力・子ども支援力開発実習）			
金		教育実践リフレクションⅢ	教育実践研究	

○は、MDA教育科目群

[2 年 次 後 期]　学修完結期・研究課題総括期

曜日	1	2	3	4
月				
火				
水				
木	専門実習（授業力・子ども支援力開発実習）			
金		教育実践リフレクションⅣ	教育実践研究	

履修の工夫によって、授業を4期に分散することもできます。

履修の工夫によって、教育実践研究を含む自己の課題解決のために実習校に出向くなどの時間を確保することができます。

岩手大学教職大学院 修了要件単位表	専攻共通科目（必修）	選択科目（プログラム別選択）4単位を含む	実習科目（必修）	リフレクション科目（必修）	実践研究科目（必修）	計
	20	8	10	4	4	46

●選択したプログラムと、履修する実習科目の対応

プログラム	現職・学卒の別	履修する実習科目：学校マネジメント力開発実習	授業力開発実習	子ども支援力開発実習	特別支援教育力開発実習A/B
学校マネジメント力開発・DX.Eプログラム	現職院生	○	○	○	
授業力開発・DX.Eプログラム	現職院生	○	○	○	
	学卒院生		○	○	
特別支援教育力開発・DX.Eプログラム	現職院生	○			○（B）
	学卒院生				○（A）

2 年 次

4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

専攻共通科目
プログラム別選択科目
実習科目（授業力・子ども支援力/特別支援教育力）
リフレクション科目
教育実践研究科目
教育実践研究 中間発表会
教育実践研究 発表会

4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

専攻共通科目
プログラム別選択科目
実習科目（学校マネジメント力・授業力・子ども支援力/特別支援教育力）
リフレクション科目
教育実践研究科目
教育実践研究 中間発表会
教育実践研究 発表会

※時間割や履修スケジュール等については、変更されることがあります。

専門実習について

岩手大学 教職大学院

連携協力校
- 附属学校
- 公立連携校

岩手県教育委員会
- 岩手県教育委員会事務局
- 岩手県立総合教育センター
- 教育事務所

盛岡市教育委員会

小学校	岩手大学教育学部附属小学校	
	盛岡市立仁王小学校	盛岡市立厨川小学校
	盛岡市立城南小学校	盛岡市立仙北小学校
	盛岡市立桜城小学校	盛岡市立緑が丘小学校
中学校	岩手大学教育学部附属中学校	
	盛岡市立下橋中学校	盛岡市立河南中学校
	盛岡市立下小路中学校	盛岡市立大宮中学校
	盛岡市立上田中学校	盛岡市立黒石野中学校
高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校	
	岩手県立盛岡第三高等学校	
	盛岡市立高等学校	
特別支援学校	岩手大学教育学部附属特別支援学校	
幼稚園	岩手大学教育学部附属幼稚園	

Q 学校マネジメント力開発実習では、どんなことをするの？

A 学校経営や教育行政にかかわる実際的な業務内容を実習します。学卒院生は、連携協力校での校務分掌を実習内容に含みます。現職院生は、教育委員会や教育センターでの事務局業務や研修の運営業務などを実習内容に含みます。

桜城小学校

Q 特別支援教育力開発実習では、どんなことをするの？

附属特別支援学校

A 特別支援学校における授業づくりはもちろんのこと、教科指導以外の教育活動、通常学級への巡回相談等を実習します。その中で、具体的かつ有効な支援方法を開発、検証します。

Q 授業力・子ども支援力開発実習では、どんなことをするの？

A 授業づくりを実習します。単元計画の立案、実践、評価を行う中で、子どもの生活上・発達上の実態に配慮しつつ、有効な指導方法を開発、検証します。

仙北小学校

下橋中学校

また、教科指導以外の教育活動（学級経営、進路指導、教育相談等）を実習します。児童生徒の状態を把握し、その課題解決を目指した具体かつ有効な支援方法を開発、検証します。

※DX. Eプログラムに関する実習は、学校マネジメント力・授業力・子ども支援力・特別支援教育力それぞれの開発実習の中で行います。

教育実践研究テーマの例

学校マネジメント力開発プログラム
- より実効性のある道徳教育を協働的に推進するカリキュラム・マネジメントの在り方
- 人口減少社会における地域創造人材の育成に関する地域―学校間連携の在り方
- 高等学校における学校運営協議会の現状と課題

授業力開発プログラム
- 「いわての復興教育」の視点で捉え直す教科横断的な授業づくり ―小学校での実践を手がかりに―
- 児童の「問い」を中心とした物語文教材の授業づくりに関する実践的研究
- 中学校武道における「弓道」の教育的効果に関する研究
- 自律的な問題発見・解決能力を育成するための中学校数学の授業開発

特別支援教育力開発プログラム
- 知的障害特別支援学校における各教科等の資質・能力と情報活用能力の育成を両立する授業づくりの要領

修了生の動向

修了生インタビュー

北上市立江釣子小学校 主幹教諭　髙橋恵子

4月より北上市立江釣子小学校に赴任いたしました。本校は今年、創立50周年を迎えます。この記念すべき年を思い出に残る1年とするため、地域の皆様と共に記念事業の企画に取り組んでおります。私は主幹教諭として、小体連事務局、特別支援コーディネーター、初任者指導など、幅広い業務を担当しております。これらを円滑に進め、学びを充実させるためには、校内外の先生方との連携が欠かせません。初めてのことに戸惑う場面もありますが、大学院で培ったマネジメント力や授業での知見を活かしながら、日々実践を重ね、取り組んでおります。また、困難に直面した際には、大学院で築いた人脈を活用し、すぐに相談できる仲間たちの存在が私を支えてくれています。今後も、人とのつながりを大切にしながら精進してまいります。

盛岡市教育委員会 主任指導主事　似内　流

4月から盛岡市教育委員会事務局学校教育課に勤務しております。教育委員会は「確かな学力の育成」、「誰一人取り残さない教育の推進」を柱として、様々な事業に取り組んでいます。私は主にICT教育を担当しています。GIGA端末やデジタル教科書の活用を通して、子どもたちの情報活用能力の育成に寄与していきたいと思います。教育委員会での仕事は初めてのことばかりですが、教職大学院で学んだ教育行政についての知識、県教育委員会や教育事務所でのマネジメント実習は今の業務に活かされています。また、異なる校種の同期と教育について語った時間は、現在の仕事の活力となっています。これからも教職大学院の学びをさらにアップデートしながら、すべての子どもたちと学校のウェルビーイングの実現をめざして取り組んでいきたいと思います。

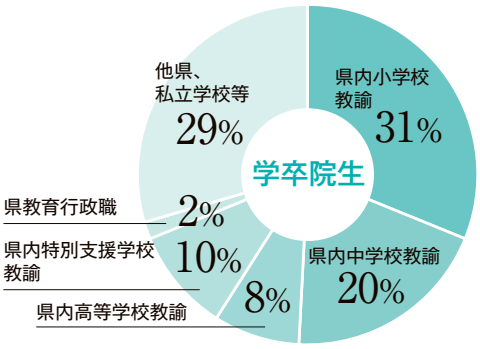
一関市立山目小学校 教諭　滝沢　咲

4月から、小学校3年生36名の担任として、毎日忙しくも充実した日々を過ごしております。個性や特性がさまざまで、やんちゃな子ども達を前に、時には自分の力不足を感じることもありますが、同僚の先生方に助けていただきながら、「一人ひとりの良さを生かした温かい学級をつくりたい」という思いをもち、学級経営や授業などに励んでいます。学校現場に入り、明らかに実践が増えた今でも、大学院で学んだ理論を思い返しながら、探究心を持ち続け、子どもと共に学び続ける教師でありたいと思っています。この探究心こそが大学院で培ったものであり、今後の教員人生においての強い武器になると感じております。まだ始まったばかりの教員人生ですが、毎日笑顔で過ごせているのは、子どもたちのおかげです。これからも教員という職の魅力を最大限に感じながら、責任と自覚をもって岩手県の教育に貢献していきます。

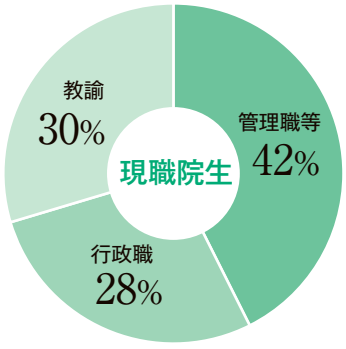
盛岡市立北陵中学校 教諭　菊池貫太

4月から、盛岡市立北陵中学校に勤務しております。2学年の担任として、大学院までの実習生としての立場から、責任のある立場へと変わり、身を引き締めながら日々を過ごしています。一方で、この1か月という期間の中でも大学院での学びが助けになった場面も多々ありました。特に、年度初め、担任としてどのような準備をして学級をスタートさせていくか、教科経営において生徒に合った授業のスタイルをどのようにつくっていくかなど、大学院の講義や実習校での経験を引き出しながら、取組を行っているところです。それでも上手くいかないことだらけですが、周囲の先生や大学院でつながりのあった方々に相談しつつ、乗り切ろうとしています。これからも、周囲を頼りつつ、自らも頼られる教員となれるよう、学び続けて参ります。

修了生進路（令和7年4月現在）



第1期生～第7期生



第1期生～第7期生

学卒院生　第8期生

- 大田原市立紫塚小学校教諭
- 郡山市立桜小学校教諭
- 一関市立山目小学校教諭
- 一関市立桜町中学校教諭
- 盛岡市立北陵中学校教諭
- 群馬県立館林高等学校教諭
- 岩手県立花巻清風支援学校教諭

現職院生　第8期生

- 北上市立二子小学校副校長
- 盛岡市教育委員会主任指導主事
- 岩手県立大船渡高等学校教諭
- 北上市立江釣子小学校主幹教諭
- 八幡平市立田山小学校副校長
- 二戸市立福岡中学校副校長
- 一関市立黄海小学校副校長
- 岩手県教育委員会学校教育室指導主事

在籍者数

（令和7年4月現在）

入学年度	プログラム	学卒院生	現職院生	合　計
令和6年度	学校マネジメント力開発		3	3
	授業力開発	4	4	8
	特別支援教育力開発	2	1	3
	小　計	6	8	14
令和7年度	学校マネジメント力開発		3	3
	授業力開発	4	4	8
	特別支援教育力開発	1	1	2
	小　計	5	8	13
	合　計	11	16	27

※プログラム名は、令和７年度までのものです。

研究科専任教員

（令和7年4月現在）

研究科教員	実務家教員	特任教員
柴垣　登	佐藤　信	奥田　昌夫
中村　好則	紺野　好弘	小野寺哲男
福島　正行	菅野　亨	
佐々木　全	須川　和紀	
杉山　智風	三浦　隆	
田代　高章	柏　英保	
川村めぐみ	和田　裕之	
小川　春美		
山路　茜		

学修支援Q&A

Q1 どのような施設で学修するのですか?

教職大学院生専用の施設があります。この施設では、無線LANが完備され、いつでも利活用できる電子黒板等のICT機器が配備されています。

Q2 教員採用試験での特例措置とは、どのようなものですか?

岩手県の教員採用試験に合格した上で、教職大学院に進学した学卒院生は、大学院修了までの期間、名簿登載期間を延長することができます(最大2年間)。なお、合格した出願区分の学校・教科等の専修免許を取得することが条件です。

Q3 奨学金制度はありますか?

学卒院生を対象とした本教職大学院独自の貸与制度があります。貸与額は、月額3万円または5万円を選択できます。なお、修了後5年以内に、自身で無理のない返済計画書を作成のうえ、返還する必要があります。

Q4 授業の特色にはどのようなことがありますか?

「理論と実践の融合」を目指し、理論面を研究者教員が、実践面を実務家教員がそれぞれ担当します。多くの授業は、研究者教員と実務家教員のティーム・ティーチングで、演習を重視して実施します。また、授業や専門実習では、現職院生と学卒院生が協働・交流し、学び合います。

Q5 どのような指導体制ですか?

各プログラムを専門とする研究者教員9名と、小・中・高・特支の校長等の実務経験のある実務家教員7名が中心となり指導します。また、これに加えて教育学部所属の20名をこえる研究者教員が学修をサポートします。

Q6 教育実践研究報告書とは何ですか?

院生個人が、学校現場に貢献する教育実践のテーマを定め、その実践を理論的に検討し、内容をまとめたものが教育実践研究報告書です。その内容に応じて、研究者教員と実務家教員がチームでサポートします。

Q7 学卒院生が修了後に教員になったとき、初任者研修はどうなりますか?

岩手県内の公立学校では、教職大学院での学修内容が考慮されるため、校内の初任者研修150時間程度が、75時間程度に軽減されます。

Q8 学卒院生が修了後に教員になったとき、初任給はどうなりますか?

「教職修士(専門職)」に対する優遇がなされています。具体的には、岩手県採用の初任給は、大学卒が266,552円ですが、大学院(修士)修了は、285,152円です。(令和8年度岩手県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項による)

Q9 修了後、教職大学院とのかかわりはありますか?

教職大学院の同窓会があり、親睦を深めたり実践研究を交流したりします。また、教職大学院と連携・協働して、教育実践研究や職務に取り組む修了生もいます。

教職大学院棟

交通案内〔盛岡駅から〕

■ **バス利用**

岩手県交通バス
- 駅上田線　松園バスターミナル行き
- 駅桜台団地線　桜台団地行き

乗車ー「盛岡駅前東口バスターミナル11番線」
下車ー「岩手大学前」

■ **タクシー利用**　盛岡駅から約2km 約10分

■ **徒歩**　盛岡駅から約25分

岩手大学 教職大学院

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号
TEL.019-621-6840　FAX.019-621-6841
E-mail emaster@iwate-u.ac.jp
URL https://www.edu.iwate-u.ac.jp/master/

岩手大学 教育学部

TEL.019-621-6504　FAX.019-621-6600
E-mail edujim@iwate-u.ac.jp

VEGETABLE OIL INK
この冊子は環境に配慮した用紙を使用しています。